

第7回 科学技術政策セミナー

2014年7月25日(金) 15:00-17:00

大阪大学テクノアライアンス棟 1F 交流 サロン 〒565-08 71 大阪府吹田市山田丘 2 番 8 号

本セミナーはこれまで国の科学技術政策を推進する上で注目されている話題に焦点をあて2ヵ月に一度程度開催して参りました。特に第5回-6回では、科学技術政策の土台となる科学技術基本計画の策定や各省庁における政策立案及び策定プロセスについて、直接政策立案に携わってきた方々をお招きし、講演をしていただきました。

今回は、大学から文部科学省や経済産業省へ出向していた方や官僚を経験して研究者に転じた方などの経験談をうかがいながら「大学からみた科学技術政策」について参加されたみなさんと一緒に考えたいと思います。ご関心のある方々が幅広くご参加くだされば幸いです。

参加費無料
申込不要

大学からみた科学技術政策

話題提供1：職員、文部科学省へ出向する

花岡宏亮（大型教育研究プロジェクト支援事務室 専門職員）

関西学院大学法学部卒業。2003年大阪大学採用後、研究協力部、産業科学研究所、PMO準備室、総長秘書室PMTを経て、文部科学省研究振興局情報課へ出向。情報科学技術委員会やアカデミッククラウドに関する検討会の運営、内局事業（未来社会実現のためのICT基盤技術の研究開発）の概算要求や戦略目標「ビッグデータ」、「知的情報処理」等の企画立案等に従事。2014年4月より現職。

話題提供2：科学技術庁（現 文部科学省）を経験して、研究の道に進む

神里達博（コミュニケーションデザイン・センター 特任准教授）

東京大学工学部卒（化学工学、1992）。東京大学大学院総合文化研究科博士課程単位取得満期退学（科学史・科学哲学、2002）。博士（工学）。コミュニケーションデザイン・センター科学技術部門・公共圏における科学技術・教育研究拠点プロジェクト所属。旧科学技術庁、旧三菱化学生命科学研究所、JST社会技術研究開発センター、東京大学大学院工学系研究科GCOEを経て現職。これまでは、主に食や健康問題におけるリスクと社会の関係を扱ってきたが、最近はエネルギー問題にも関わる。

話題提供3：研究者、経済産業省へ出向する

北岡康夫（工学研究科付属高度人材育成センター 教授）

大阪大学大学院工学研究科修士課程を経て、1991年松下電器産業（株）（現パナソニック株式会社）に入社。1997年大阪大学大学院工学研究科にて博士（工学）取得。次世代光ディスクの開発に従事しながら、人材育成業務や企画業務にも従事。2006年大阪大学大学院工学研究科附属フロンティア研究センター教授。結晶成長関連の研究を進めながら、社会人基礎力育成プログラムを全学的に推進。2010年10月経済産業省製造産業局ファインセラミック・ナノテクノロジー・材料戦略室産業戦略官。レアメタルの価格高騰や東日本大震災に関わる産業政策や国家プロジェクト（SIP、ImPACTなど）の仕組みづくりに従事。2014年4月より現職。

主催：大阪大学大型教育研究プロジェクト支援室

共催：公共圏における科学技術・教育研究拠点（STiPS）

